

一度で諦めず  
一歩踏み出す  
勇気!



育児に関しては  
誰にも負けません!

建築部 育休パパ  
江尻 隼人 さん  
Hayato Ejiri  
子ども2人



総務部 総務課長  
鈴木 英長 さん  
Hidenaga Suzuki

## interview-02

堀江工業株式会社 本社  
2012年7月18日(水)

### ■ 休暇制度への取り組みは?

鈴木: 半日有給休暇制度は10回、計5日まで取れます。この半日休暇は、女性の方が授業参観や家庭訪問などの時に利用しやすいようです。

江尻: 私も1回取りました。子どもの授業参観の時に午後から休みをもらって行きました。

### ■ 育児休業取得の実績は?

鈴木: 弊社では3日間休めると就業規則で決まっていますが、奥さんが出産した社員はほとんど取得しています。取得実績は今までに6人くらいです。3日間くらいでは育児休業と言えないだろうということで、有給休暇を2~3日プラスして1週間くらい取得した社員が2人います。

### ■ 休暇取得への働きかけをしていますか?

鈴木: そうですね。上司の対応が1番のポイントになると思います。これはアンケートを実施して分かりました。そこで、上司の教育が必要だと感じ、管理職研修を3回やりました。弊社は男性が9割です。女性は10人中9人が結婚していて、そのうち7人が育児休業を取得した後に復職しています。会社としては取得への理解はあり、若い人たちが取りますと言える雰囲気はあるようです。

### ■ 良かった点や変わった点はありましたか?

鈴木: 制度に注目するようになったり、世間のワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる会社に社員が敏感に反応するようになったりという影響があります。だからこそ、みんな休むという雰囲気ができてきたのではないかと感じます。

### ■ ワーク・ライフ・バランスへの取り組みは?

鈴木: 平成21年に21世紀職業財団さんから指定を受けて取り組みを始めました。たとえば、社内風土はどういうことなのかを調べるためにアンケートを実施しました。

他には、「イクメンからカジメンまで全部やっています!」という男性を呼んで、講習会を開きました。年齢が50代後半の男性が育児や家事をしていたと知って、やはり皆、驚いたようです。弊社がワーク・ライフ・バランスに取り組んで、他の業種の方からは、「そういう制度があるって良いよね、私たちは結婚や出産で辞めるしかない」と聞いたりしました。やはりそういう制度をもっと広めて、働きやすい環境作りが必要だと思いました。建設業で、育児休業で1年近く休むなんていうことは、我々が入社したころは考えられませんでした。

### ■ 会社主催の家族向けイベントはありますか?

鈴木: 今は、日帰りの家族旅行ですね。社員の親睦会があり、その主催で近年はディズニーリゾートに行ってます。子どもがいる家庭がメインで、バスは4台くらいになります。もちろん家族なら誰でも参加できます。縁があって同じ会社で、みんな顔を合わせて仕事をしている訳ですから、たまにはそんなイベントで何か結びつきがあって、悩みごとや子供の話ができるのも良いと思います。